

「日吉神社のかえる伝説」 ♪ ~各務原市アスカホール~

中山道間の宿 新加納 新加納まちづくり会

日吉のかえる特集号

平成 27 年

11 月 1 日発行

新加納まちづくり会

会長 小島秀俊

創作劇

ひよしのかえるものがたり

むかしむかしの話です。日吉神社の森の中 小さな池がありました。そこには、ひっそりくらしてた かえるたち。むかしむかしのこと。新加納の日吉神社の森の中に小さな池がありました。そこには、ひきがえるが 住んでおりました。夜になると、大きな声を出して 鳴いておりました。



♪げえろのうた①

ゲエロゲエロ ひよしのかえる
 ゲエロゲエロ 夜じゅう鳴くの
 ゲエロゲエロ よくよく聴いて
 ゲエロゲエロ この泣き声を
 ひよし神社の宮の森 大きなひのきが
 そびえ立ち ほのかなおひさまの光
 受け 池の中の ひよしのかえる。
 (7行♥繰り返し♥ (下段と最後部)
 ある日のこと きれいな着物を着た娘さんが
 ひよしの池の前を通りました。
 するとかえる達はあることを思いつきました。
 「おい、あの娘っ子 おどかしてやろまいか」
 「ダメよ、ダメダメ」



♪げえろのうた②

「おいらなんて、こないだ人間に、もう少しで
 ふみつぶされる」と言ったわ」
 「わっと おどかす 転ぶ 着物がよれる
 さまあもろ やて」
 「飛び出す スピードは秒速 うーんざっと
 ーメートルだかね」
 「人間につぶされんやろか」
 「だいじょうぶやてー。おいら達は、無敵な
 カエルだかね」
 遠くから 着物の娘さんが来てゆっくりと、
 カエル達が近づき替かす。泣きながらそこを
 立ち去る 残ったカエル達の笑い声が残る。
 ゲエロゲエロ ひよしのかえる
 ゲエロゲエロ 夜じゅう鳴くの
 ゲエロゲエロ たいくつしのぎ
 ゲエロゲエロ いたすら楽しい
 娘さんの着物は、カエル達に脅かれて泥まみれ
 になり、泣きながら家に帰りました。
 ひよしのカエル達は、その様子を面白がって、
 何回もいたすらをしました。
 とつとつ村人達は、怖くなって誰も日吉の森に
 近づこうとはしなくなりました。
 「おい、人間がだれもおらんようになったで」
 「ダメよダメダメ」

♪げえろのうた①

7行♥繰り返し♥



「いたすらができんで、うすうすするわ」
 「そうだ、村人に家まで行って、イタズラしたら
 まいか
 「ここからだ、わたしらのジャンプで、一万ジ
 ャンプの距離だかね」「人間につぶされんやろか」
 「だいじょうぶやてー」
 おいら達は無敵なカエルだかね」

カエル達は、村人の家の
 戸をたたいては、おどかす
 イタズラをはじめました。
 またある日は、おかつての
 食ハ物を、勝手に食ハ散ら
 かしたり、し始めました。
 ほとほとカエルのイタズラ
 に困った村人は、ある夜、
 集まって集会を開きました。





♪村人のうた

ひよしんじゅのかえるさん
 どうか 耳をすましてね
 ひよしんじゅのかえるさん
 どうか いたすらやめとくれ
 「こは、かかみのつつししの村
 土や泥にまみれて 田んぼや
 畑をたがやし 汗水たらして
 生きている。」
 ひよしんじゅのかえるさん
 どうか 耳をすましてね
 ひよしんじゅのかえるさん
 どうか いたすらやめとくれ。
 ～村人～
 「ひよしの池を、埋めてしまえ。」
 「そつだ、そつだ」
 「まで、大切な生き物の命を、殺
 していいんか。」
 「きつと、人間に
 何かしてほしい
 のでは。」
 「一度、だーんと
 食べ物をやって
 みようやない
 か。」



♪げえろのうた②

ゲエロゲエロ ひよしのかえる
 ゲエロゲエロ 夜じゅう鳴くの
 ゲエロゲエロ たいくつしのぎ
 ゲエロゲエロ いたすら楽しい

「なんじゃこりゃー! ぎょうさんの食べ物だ、
 うまそう!」
 「ダメよ、ダメダメ」
 「人間のいたすらか、もう少してたまされると
 ころやっただ」 「わっとおどかす 食べる
 毒入り食べ物、おれたちおだぶつ」
 「死んでしまっ スピードは、うーんざつと
 すぐだかね」
 「うーん、これはうまい、みんな食べようよ。」
 皆口々に 疑い深く、口にする
 「だいじょうぶやてー。おいら達は、無敵な
 カエルだかね」
 カエル達は、楽しそつに、
 食べ物を食べ始める。



♪げえろのうた①

ゲエロゲエロ ひよしのかえる
 ゲエロゲエロ 夜じゅう鳴くの
 ゲエロゲエロ よくよく聴いて
 ゲエロゲエロ げえろのうた
 ひよし神社の宮の森 大きなひのきが
 そびえ立ち ほのかなおひさまの光
 受け 池の中に すんでるよ。

♪げえろのうた②

ゲエロゲエロ ひよしのかえる
 ゲエロゲエロ 夜じゅう鳴くの
 ゲエロゲエロ たいくつしのぎ
 ゲエロゲエロおなががいつぱい

「おい、村のじい様が 病気やそつな、
 たすけてやろまいか」
 「かえるのおんがえし、おんがえし」
 「なんでも、人間の病気に効く、薬草を
 知つとるよ。」
 「さつと届ける 薬を飲
 む 病気が治る めでだし めでだし」
 「病気が治る スピードは うーん
 さつと一日だかね」
 「じい様早くよーなるとええね」
 「だいじょうぶやて。じい達は、無敵な
 人間だかね」

♪げえろのうた②

ゲエロゲエロ ひよしのかえる
 ゲエロゲエロ 夜じゅう鳴くの
 ゲエロゲエロ たいくつしのぎ
 ゲエロゲエロ しあわせ運ぶ

♪げえろのうた ① 7行♥繰り返し♥ (続く) しあわせ運ぶ
 ひよしのかえる。 ふくがみ様 ひよしのかえる。 ～ おわり ～



ひよしのかえる達は、遠く山まで出かけて
 行きました。そして、病気のじい様の 家まで
 行って、そつと薬草を置いてきました。
 すると、じい様は一日で元氣になりました。
 薬草のそばには、ちいさな カエルの足跡が
 たくさん残っているのを見つけました。
 その後、村人達は、ひよしの池に行って、
 お願いをするようになりました。
 すると、村人には、よいことが訪れるようにな
 りました。今でも四月には 「げえろまつり」
 といって、大切におまわりをしています。